

斜角門形カルバート工
法研究会(岩佐隆会長、
会員19社)は20日、東京
都港区の子サンホテル浜
松町で第7回通常総会を
開催、すべての議案を原
案通り承認した。また、



総会で各地区の現況を
報告

斜角門形 カルバート

累計施工実績92件

環境負荷低減にも優れる

任期満了に伴う役員改選
では岩佐隆会長、佐藤一
副会長、小林志伸副会長
など全役員を再任した。
道路と水路や道路と道
加える必要があり、それ
また、総会では今年度
分を通常のボックスカル
バート等のPCa製品で施
工する場合には、両端に
92件、同施工延長は68
0mに達している。

形カルバートの現場紹介
が行われ、担当者が表彰
された。

路が交差する場合は通常
直角に交差しているが、
道路や水路の事情によっ
ては斜角に交わるケース
も発生する。この斜角部
路が交差する場合は通常
が工事のコストアップ要
因となっていた。
同工法研究会は独自の
斜角門形カルバートの製
造技術を確立し、03年8
初めてNETIS発注と
して採用された国土交通
省中部地方整備局飯田国
道事務所発注の「伊南バ
イパス整備工事の斜角門

岩佐会長は「PCa製の
斜角門形カルバートは、
現場打ちに比べ、部材厚
を薄くできることに加え
て、1部材当たりの施工
時間を10〜15分と大幅に
短縮している。これらは
すべて環境負荷低減に直
接結びつくものだ。今後
もこうした優れた特長を
需要家に積極的にPRし
ていきたい」と述べた。